



Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創 立：1980年(昭和55年)11月10日 事 務 局：460-0008
 名 長：泉 憲二 名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
 幹 事：亀井 直人 TEL：052-211-3803
 方 針 委 員 長：山口 哲司 FAX：052-211-2623
 例 会 日：毎週木曜日PM12:30～ MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
 会 場：ヒルトン名古屋 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1627回例会

～家族月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2013年12月12日(木) 晴 第23回

司 会：田中宏会場委員
 斉 唱：「我等の生業」

副会長挨拶

長瀬憲八郎副会長



以前にもお話しました伊勢の式年遷宮ですが、遷御も終わり落ち着いてきた様に思います。本日は8月に、式年遷宮に関連した「御白石持行事」という石を運ぶ行事に参加した時のお話をします。

「おはらい待ち」通りの端から宇治橋前の広場まで、奉曳車(大八車のちょっと大きい車)をひきました。奉曳車には、石の詰まった酒たるが何個も乗り800人～1000人の人が白装束の姿で、2本のロープを引きます。「エイ ヤー」「エイ ヤー」の掛け声で引くのですが、400人～500人で引いているロープは固くて動けず、ロープに振り回されてしまうので、私はロープには触れずに掛け声を出しながら傍を歩きました。

宇治橋の前でロープから離れて橋を渡り、そこからはもう神域です。体を清め、最初に白い布を渡され、次に白い石を白い布に包んで御垣内の中に入り、「正殿」の周り(辰巳の方角)に置いてきました。

樹齢300年を超すヒノキの巨木を柱に使い、見上げる高さ12Mの正殿は壮観でした。もう一度、御垣内の中に入れないかという気持ちで一杯です。次の第63回式年遷宮までは、20年ですが準備期間が約8年ありますので、12年後には山口祭(神木の伐採)が始まり、13年後には、「御木曳行事」が始まるので、普通に歩ける体でいて参加出来るようにしたいです。病気をして、65歳になり、ゴルフが下手でいやになるこの頃78歳まで、はつらつとゴルフが出来る体でいたいと思います。次回は熱田神宮さんをお願いして、「特別神領民」の一団に加えてもらい、名古屋瑞穂RCでバス1台をだして、行事に参加したいと思っています。

新年の初詣遷宮後の豊受大神宮(外宮)と皇大神宮(内宮)をお参りして「85歳まで、ピンピンでいたい」とお願いする予定です。特に外宮を参拝し「せんぐう館」を見学して、内宮をお参りして「85歳まで毎年参拝します。」とお願いする予定です。

出席報告

高木元明出席委員長

会員63名 出席42名(出席計算人数45名)

出席率 76.4% 12月 5日は補填により 98.1%

ニコボックス

高木元明ニコボックス委員長

- ・今月は誕生日と結婚記念日です。 平野 好道さん
- ・女房の誕生日月です。 佐藤 善乙さん
- ・高須さん卓話よろしくお祈いします。 鈴木 淑久さん

・鈴木淑久君、お世話になりました。ありがとうございました。

山口 哲司さん

・よいお年を!!

内田 久利さん

幹事報告

亀井直人幹事

- ・本日13:40よりヒルトン名古屋4階「梅の間」にて新会員研修会を行います。
- ・次週12月19日(木)ヒルトン名古屋4階「桜の間」にて第3回CF(年次総会)を行います。
- ・13:40よりヒルトン名古屋4階「桜の間」にて臨時理事会を行います。
- ・18:00より圓谷(関谷醸造直営)にて第59回グルメ回を行います。
- ・2014年2月21日(金)ザ コンサートホールにてポリオ撲滅チャリティコンサートが行われます。チケットのお求めは事務局までお願いします。

委員会・同好会報告

美術同好会

12月2日から28日の間、「人人」にて展示会をしています。

卓話

高須洋志さん

ガバナー事務所の仕事

本日はガバナー事務所の仕事について簡単に伝えたいと思います。

まず、実際のガバナー事務所の実務と基本となる考え方の2つに分けてお話いたします。実務についてはそれぞれ3、4分程度になってしまうかと思いますが、どのような日程で予定を組んでいるのか、どのような行事があるのか、地区の組織や予算がどうなっているのか、という4つについて説明していきます。

【日程について】

ガバナーはノミニーといって2年半以上前から予定者が決まります。近藤さんが決まったのも2年半前ですが、そのノミニーである年度からすでに業務が発生します。エレクト年度である今年の7月から来年の6月までの間、ガバナー年度である来年の7月から再来年の6月までの間、再来年の6月を過ぎても整理の為に大体8月くらいまで、ガバナー事務所の仕事は続きます。

【ノミニー年度の仕事について】

まずノミニーの最初の仕事は、ガバナー事務所を構成する人選をする事です。地区の運営とクラブ自体の事業もあるので、全体のバランスを考慮する必要があります。

次に任命した地区スタッフの愛知県2760地区にある8分区にそれぞれ担当の副幹事を設けます。8名の地区副幹事はガバナー補佐とペアを組み、各分区内の管理に取り組みます。副幹事にはそれぞれ1名のスタッフが付きます。副幹事がやむを得ない事情で

参加出来ない時に代理の役割をし、日頃は地区事業の様々な準備作業を担って頂きます。その他に事務長という事務所の関係の統括をする役割があります。予算編成に携わって頂く会計長、予算執行の監査と決算報告を行う監事、監事が行事に出席できない時に代理を務める副監事、以上、合計23名が組織の構成員です。

次にガバナー事務所の事務処理を行う専属の事務員が必要で、名古屋瑞穂RCの事務員として採用し、ガバナー事務所へ出向して頂きます。給与はガバナー事務所の経費として処理されます。忙しい時期には補助事務員をパートタイマーとして雇用し、1.5人体制で事務所の運営に対応します。その他、ガバナー事務所内に分室が設けられており、財団・米山のような専門分野を担当する事務員が各1名(会計2名いずれもパートタイマー)が居ます。

【エレクト年度の仕事について】

どんな仕事があるかという、近藤エレクトを中心にガバナーエレクト会議を年間で12回開催し、各副幹事、スタッフの皆さんに役割を振り分けたり、仕事を進めていただきます。例えば、現在は決まった担当者がガバナーの事務所が主管として来年3月に開催するPETS(プレジデントエレクトトレーニングセミナー)という次期会長の為の会合に向けての準備をしております。その後、来年4月にこの地区を形成する指導者、地区の委員長など地区組織の中の役員を集めて開催する地区研修協議会(旧地区協議会)の準備があります。

エレクト年度に入ると早速、地区内8分区のガバナー補佐を慣例として分区内で順番に選び、決めます。ガバナー補佐は推薦をもらった後、ガバナーが認定していきます。ガバナー補佐と副幹事が協力しガバナー年度の事業を進めていきます。補佐が決定すると、補佐を輩出したクラブ内で、補佐をサポートする分区幹事を決めます。その方達を含めると総勢がかなりの人数でガバナー事務所を運営をしていっていることになります。

地区研修協議会では、それぞれのクラブの会長、幹事、委員会の委員長の方が中心となって次年度の準備をしていただきます。その前に、ガバナーエレクトである近藤さんはカリフォルニア州のサンディエゴで開催される国際協議会に出席されます。おそらく10日間くらい行かれると思いますが、実質研修期間は1週間くらいで、毎日朝から夕方まで研修会です。奥さん達も出席することになるので、日本からは34人のガバナーエレクトとその奥さんが参加されます。今年の国際協議会では奥さん達が集まって日本の伝統文化を紹介しようと阿波踊りを披露されるそうです。

国際協議会から帰ると、その間にRI会長方針がはっきりしてきますので、そこにガバナーとしての考えを入れてガバナー方針が決まるので、それを受けてPETSを開催します。PETSの会長、幹事の研修を受けた後に委員長も交えて地区研修協議会を行います。これが基本の進め方で、今年も例年通りに進めていくかと思えます。

【ガバナー年度の仕事について】

来年の7月からいよいよガバナー年度ですが、ガバナーの基本的な仕事はクラブ訪問です。これは2760地区に83クラブありますが、近藤さんの年度で例年と違うところは、合同で例会をするのではなく、83クラブを1クラブずつ訪問することです。決意は固めました、とても大変な事で、7月から来年1月までかかります。地区大会は例年だと秋に開催しますが、地区大会を開催する半田RCにはご理解を頂いて2015年の2月に開催する予定になりました。近藤さんの訪問は10月頃までほぼ毎日訪問しなければならず、自分のクラブにはなかなか顔を出せなくなるかと思えます。

訪問が終わると、地区大会にて、訪問して受けた様々な印象や感想や問題点を集約して報告をします。地区大会の在り方として、青少年活動についての理解をロータリアンに務めて頂ける様、色々な事例を発表する場を設けたいと思っています。

【予算と組織について】

組織については例年のひな形を参考に委員会などの統廃合を行いました。現在、委員会の掛け持ちをしている方もいらっしゃいますが、述べ340人以上の要員を300人を目標に縮小を目指しています。年内に一人ひとりの所属を決定し、地区組織の決定をしていきます。

予算については、会計長の森さんと相談して決めています。年度の会員の負担金が2万千円、会員数が4750人として計算し、1億弱が地区の予算になります。この1億円の使途を会計長と打合せしています。

他に、ガバナー事務所を運営するための経費管理口座があります。ここには皆さんから半期ごとに2万円徴収させて頂いている協力金を納めています。半期で約120万円程と必要資金には不足しますので、理事会で承認を頂いてニコボックスから資金を補充させて頂きました。

エレクト年度の時に前払金が発生するので一番資金が不足し、ガバナー年度になるとそれが戻ってきます。どのくらい戻ってくるのか見極めるのが難しいところです。皆さんに負担して頂く費用なるべく抑えたいと思っています。理事会では、2年半にわたり半期ごとに2万円ずつ徴収しており、1人10万の予定になっていますが、そこまで負担して頂く必要はないのではと思っています。現在、臨時資金をニコボックスから借入れをしておりますが、ガバナー年度には資金が余ってくるので、その際に返済をする予定です。

予算については分かりにくい点も多いかもしれませんが、監査や決算もありますので、その時に分かりにくい点があれば説明させていただきます。

【地区運営の考え方について】

地区運営において一番目指していることはロータリー活動の基本でもある「多様性と慣用の精神」を大切にすることです。

多様性はご存じのように、様々な環境、植物で言えば育つ環境によって色々な固有の特性が出てきます。ロータリアンも同じ様に職業と経験、事業規模によって考え方の違いが出てきます。そんな違いを持った方がみんな活動する為には感性の差異(多様性)を認めることが不可欠です。

私は話し方に職業による違いを感じます。例えば、サービス業の方、先生と呼ばれる職業の方、大企業の経営者、小企業の経営者、それぞれに特徴があります。そんな特徴を踏まえ、その違いを受け入れる体制で運営していく必要があると感じております。

寛容性は違いがあることを認め、許容することです。考え方が違うからといって排除してしまえば協調はなくなってしまいます。

一番大切なことは、ガバナー年度を乗り越えていく上で、考え方の相違によって衝突したり、分裂することは避け、ガバナー年度が終わった時に、苦労もあったが経験して良かったと思える活動にすることです。ガバナー事務所を運営する為に苦労も沢山あるかと思いますが、クラブが分裂する様な事は絶対に避けたいので、ご協力をお願いいたします。



例会のご案内

■今週の行事 12月19日(木) 第3回CF(年次総会)

■次週の行事 12月26日(木) 上期納会
場 所：八勝館
時 間：18:00~20:00

■1月2日(木) R規定に基づき休会